

DONET研究会 シンポジウム

～「地震・津波観測監視システム(DONET)」を活用した津波対策について～

日時 平成29年2月15日(水) 14:00～15:45

場所 三重大学 地域イノベーションホール

(津市栗真町屋町1577 地域イノベーション研究開発拠点 C棟3階)

主催 三重県・三重大学 みえ防災・減災センター、三重県、三重大学

プログラム 14:00 開会 ～ 15:45 終了予定

● 座長あいさつ 三重大学大学院工学研究科 准教授 川口 淳

● 三重県知事あいさつ 鈴木 英敬

14:10～

講演1 「DONET (地震・津波観測監視システム) について」

講師： 金田 義行 氏 — 香川大学地域強靱化研究センター長・特任教授
学長特別補佐

14:40～

講演2 「DONETを活用した津波予測・伝達システムと今後の展開について」

講師： 上村 正典 — 三重県防災対策部 防災企画・地域支援課長

14:55～

パネルディスカッション

「DONETを活用したこれからの津波対策の展望について」

コーディネーター 川口 淳 — 三重大学大学院工学研究科 准教授

パネリスト 金田 義行 氏 — 香川大学地域強靱化研究センター長
・特任教授 学長特別補佐

東谷 竹雄 氏 — 津市危機管理部 防災室 主査

長井 亮介 氏 — 紀北町危機管理課 防災対策係長

上村 正典 — 三重県防災対策部 防災企画・地域支援課長

金田 義行 氏 プロフィール



理学博士。昭和 54 年東京大学理学系大学院地球物理専攻修士課程修了。旧石油公団等を経て海洋研究開発機構に着任し、地震津波・防災研究プロジェクトリーダー等を歴任して DONET 開発の中心的役割を担いました。平成 26 年より名古屋大学減災連携研究センター 特任教授及び JAMSTEC 招聘上席技術研究員として地下構造調査、地震・津波モニタリング、シミュレーション等を活用した減災科学研究に取り組みました。現在は、防災科学技術研究所客員研究員のほか、香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長、地域強靱化研究センター長、特任教授、学長特別補佐を務められています。

また、文部科学省の委託を受け、南海トラフ地震へ備える研究を理学・工学・社会学の連携で実施する「南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト」の総括責任者や、SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)「レジリエントな防災・減災機能の強化」プロジェクト課題責任者、内閣府南海トラフ巨大地震モデル検討委員会委員などを務められています。

さらにトルコやインドネシアといった国々での地震津波防災研究も推進されています。

三重県・三重大学 みえ防災・減災センター

〒514-8507

三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学 地域イノベーション研究開発拠点 A棟3階

TEL 059-231-5694 FAX 059-231-9954

e-mail : bosai@crc.mie-u.ac.jp

ホームページ <http://www.midimic.jp/>

